

彙報

真宗学会

◆ 眞面方面研究旅行（法然上人の遺跡を訪ねて）

十一月十八日（日）

指導 細川助教授

参加者 白井助手、外学生十五名

◆ 修士論文中間発表

十二月六日（木） 於会議室

第十一願の研究

大音祖英

顕真実の宗教

富永 真

教行信証の基礎的性格

藤田淨智

出席者 名畑・稲葉・松原教授、広瀬

助教授、幡谷講師、白井・伊

東助手、外学生十四名

◆ 十二月十日

「親鸞教学」第一号発刊

A5判 一〇四頁 五〇〇部

◆ 卒業論文中間発表

十二月十三日（木）

於会議室

浄土の問題

木津祐昌

真宗に於ける行信の問題 吉田 敏

唯一無碍道

森崎俊一

証卷について

佐藤紗綾

往生について

住川隆尚

出席者

名畑・稲葉・松原・藤原教授、幡谷講師、白井・伊東助

手、外学生二十八名

仏教学会

◆ 例会（東洋学会と合同）

十二月五日（水） 於図書館小講堂

スライド

「中世アジアに於ける中世仏教

について」

ハンブルグ大学

フォン・ガバーン教授

ひきつづいて図書館会議室にて座談会を行った。

出席者 野上・藤島・間野・幡谷・藤

枝（京大）・横超・富貴原・

舟橋・稲葉正・佐々木現・桜

部・白土諸先生、鍵主・滋賀

助手、外学生多数

哲学倫理学会

◆ 公開講演会

十二月八日（土）

於図書館会議室

「トマス・アキナスにおける

人間の自由について」

京都大学教授 高田三郎氏

出席者 河瀬・立花教授、他二十名

宗教学会

◆ 公開講演会

十二月十三日（木）

於図書館会議室

「自覚の自己超越性」

京都大学教授 武藤一雄氏

出席者 坂本教授、大屋・加藤助手、

外学生二十名

教育学会

◆ 公開講演会

十二月一日（土）

於研究室2

「日本の子どもについて」

京都大学教授 倉石精一氏

出席者 柴田・藤助教、学生十余名

社会学会

◆補導懇談会

十一月十七日(土) 於本館会議室
午後一時より本学グラウンドにおいて専攻生の学内対抗ソフト大会を行った後三時半より会議室に集り中助教授より学習上の指導を受く。

◆関西学生社会学セミナー

十一月二十三日(金)

於同志社大学新町校舎

同会には多数の専攻生が参加すると共に、中助教授も分科会の助言者として出席したほか、学生が次の研究発表を行った。

丹後農村の社会生活

三回生 林 円了

三回生 蔵田行章

未解放部落の生活基盤

三回生 林 次郎

現代大衆文化と主体性

三回生 大広世雄

(シンポジウム参加)

国史学会

◆国史学会並財団法人古代学会共催学術大会

十二月二日(日) 於図書館小講堂

研究発表(午前九時)

一、天満天神信仰について

長 照代 (古代学協会)

一、源空教団と念仏停止

吉田 清 (国史学会)

一、古代帰化氏族と仏教

堅田 修 (国史学会)

一、律令礼式の修定

大石良材 (古代学協会)

一、八世紀に於ける土器の生産

——津清所解を中心にして——

木村捷三郎 (国史学会)

学術講演(午後一時)

一、伝承より見たる日本古代の葬制

大谷大学教授
大学博士 五米重氏

一、丹生文化の諸相

大阪市立大学教授
角田文衛氏

一、古代から中世へ

——日本の場合——

東京大学教授
文学博士

竹内理三氏

古代学会との共催で、内外部から多数の参加があり、盛会であった。尚、午後五時より本学食堂に於て懇親会が催され、なごやかな談笑のうちに幕を閉じた。

◆史跡踏査

十二月十六日(日)

百遍遍知恩寺、吉田神社本社、斎場太元宮、真如堂、黒谷金戒光明寺、同塔頭西翁院見学
引率指導 柏原助教、鈴木助手
参加学生十名

国文学会

◆研究旅行

十一月三日・四日 吉野・高野方面

第一日

吉野。蔵王堂・吉水神社・分水神社・如意輪堂を見学。高野山に赴き、天徳院に宿をとる。夜、吉野・高野について研究会を催す。

第二日

高野山。御影堂・大塔・新別所・墓地
および奥の院を見学。

参加者 多屋教授、山本助教授、岡崎

講師、渡辺助手、学生九名

◇卒業論文中間発表

十二月三日(月) 於国文学研究室

発表者及び題目

石川啄木研究

築山昇道

竹取物語の研究

大岩紀貴

西行の研究

斎藤専一

丹羽文雄の研究

松浦孝公

出席者 多屋教授、山本助教授、岡崎

講師、仲野講師、渡辺助手、

学生十名

仏教史学会

◇史蹟踏査 播磨地方

十一月二十四日、二十五日

教信寺、鶴林寺、尾上神社、高砂神社

十輪寺、一乗寺(泊)、浄土寺

指導 藤島教授

参加 名畑助手、学生十一名

◇仏教史学会大会

十二月八日(土) 於本館会議室

公開講演

台湾に於ける皇民化運動について

大谷大学助教授 北西 弘氏

親鸞絵伝の研究——スライド使用——

関西学院大学教授 源 豊宗氏

文学博士 文 博 士 源 豊宗氏

このあと応接室に於いて講師を囲んで
茶話会を催す。午後六時散会。

大谷大学史学会

◇研究発表会

十二月一日(土) 於第一教室

地方の初期禅宗の伝播とその展開

——三河を中心として——

織田顕信

中国における梵語仏典の重視

佐藤心岳

流れ湍頂について

佐々木孝正

板碑上部伊字三点の研究 斎藤彦松

王智興の戒壇度僧に関する再検討

中富敏治

当麻曼荼羅の研究について

杉野正弘

研究発表終了後、会議室にて茶話会を

催おし、列席諸教官よりの質問・示教
その他があり、和やかな空気のうちに
閉会す。

出席者 藤島・五来・稲葉正各教授、

外四十名